

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し て い ぶ ん か ざ い けん そ う ぶ つ

指定文化財(建造物)



場所

高梁市内山下



時代

江戸時代



指定年月日

昭和33(1958)年
2月24日



所有

八重籬神社



見学

見学可

がぎゅうてい

臥牛亭

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠
社島敷掛原口庄岡
市町市町市町市



この建造物について

臥牛亭は、備中松山藩主板倉勝静が御殿などのある御根小屋の一角に建てた小さな建物です。勝静は、農耕の神を祀って五穀豊穰を祈り、時には自ら畑を耕して農民の労苦を偲び、眼下に広がる城下の町並みを眺めて、領民に思いを馳せたと伝えられています。明治以降、別の場所に移築していましたが、現在の八重籬神社の境内に移されました。